



この用紙費用の一部は「世界の子どもにワクチンを日本委員会 (JCV)」に寄付されています。

## 株主メモ

■証券コード	2321
■上場年月日	2002年9月10日
■上場証券取引所	大阪証券取引所 「JASDAQ」
■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会	毎年6月開催
■基準日	期末配当金 毎年3月31日
	中間配当金 毎年9月30日
■公告の方法	当社のホームページに掲載する <a href="http://www.softfront.co.jp/">http://www.softfront.co.jp/</a>
■株主名簿管理人の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
■株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
■お問い合わせ先	【郵便物送付先】
	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
	【電話照会先】 ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
	【ホームページ】 <a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>

### 【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会下さい。



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
また、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

### 2013年3月期決算につきまして

2013年3月期の決算につきまして、ご報告いたします。

当事業年度(2012年4月1日～2013年3月31日)の業績は、売上高549百万円、営業損失107百万円、経常損失108百万円、当期純損失110百万円となりました。

通信事業者分野や複合機メーカ向け分野が堅調に推移した他、自治体関連の案件を受注するなど進展は見られたものの、電機メーカ分野の受注が減少したことなどにより、当初の業績予想を達成することができず、株主の皆様には大変ご迷惑・ご心配をおかけすることとなりましたことを心よりお詫び申し上げます。

### 2014年3月期における取り組み

当社は、2010年5月14日付で発表した中期経営方針の下、『収益基盤の拡大』と『黒字体質への転換』の2つを対処すべき重点課題と定めて事業を進め、『黒字体質への転換』においては、固定費の低減、柔軟な費用構造への転換という一定の成果を上げました。しかしながら、2013年3月期まで2期連続で営業損失を計上することとなり、『収益基盤の拡大』には至っていません。

このような現状を踏まえて、2013年5月10日付で発表した新たな「中期経営計画」を策定いたしました。

『成長』をテーマに、会社の成長はもちろん、社員一人一人も大きく成長するように全社員チャレンジ精神を持って、「中期経営計画」を遂行してまいります。

今年度は、『3つの事業領域で成長』、『内なる成長として、収益性と生産性の向上』を重点課題として事業を進め、業績の安定と拡大に努めてまいります。

具体的には、「3つの事業領域」に対応した新しい組織体制で、SI事業部を中心として通期黒字化を達成いたします。さらに、海外事業を展開するためにベトナムに子会社を設立いたします。

次に「内なる成長」として開発リソースを研究開発本部に集中することにより、開発リソースを一元管理し、研究開発、製品開発、案件対応等のプロジェクトにおける生産効率を高めます。さらに、ベトナム子会社の開発力を活用し、収益性と生産性の向上を図ります。

株主の皆様におかれましては、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げますとともに、今後ともご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

2013年6月吉日

代表取締役社長 阪口克彦

ソフトフロントは、2013年5月に掲げた「中期経営計画」のもと、

「成長」をテーマとした **3つの事業領域で成長**

**内なる成長として、収益性と生産性の向上** を重点課題として、業績の向上に努めてまいります。

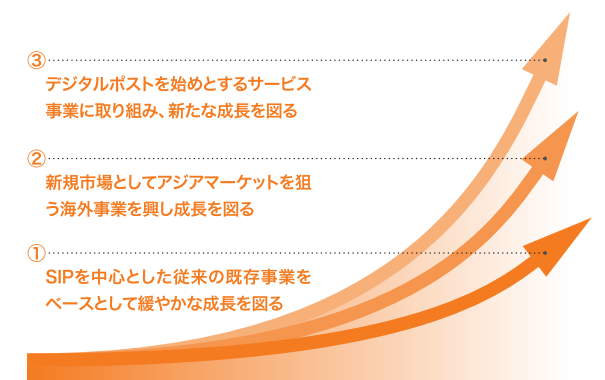
### 3つの事業領域で成長

#### 3つの事業領域の成長に向けて

SIPを中心とした既存事業をベースとして緩やかな成長を支え、海外事業とサービス事業で成長を加速し、3年後には全社として収益基盤の拡大と規模拡大を達成いたします。

#### 2014年3月期の取り組み

3つの事業領域に対応する組織づくりと既存事業を中心に、海外事業、サービス事業の収益基盤も強化し通期黒字化を達成いたします。

- 
- ③ デジタルポストを始めとするサービス事業に取り組み、新たな成長を図る
  - ② 新規市場としてアジアマーケットを狙う海外事業を興し成長を図る
  - ① SIPを中心とした従来の既存事業をベースとして緩やかな成長を図る

### 内なる成長として、収益性と生産性の向上

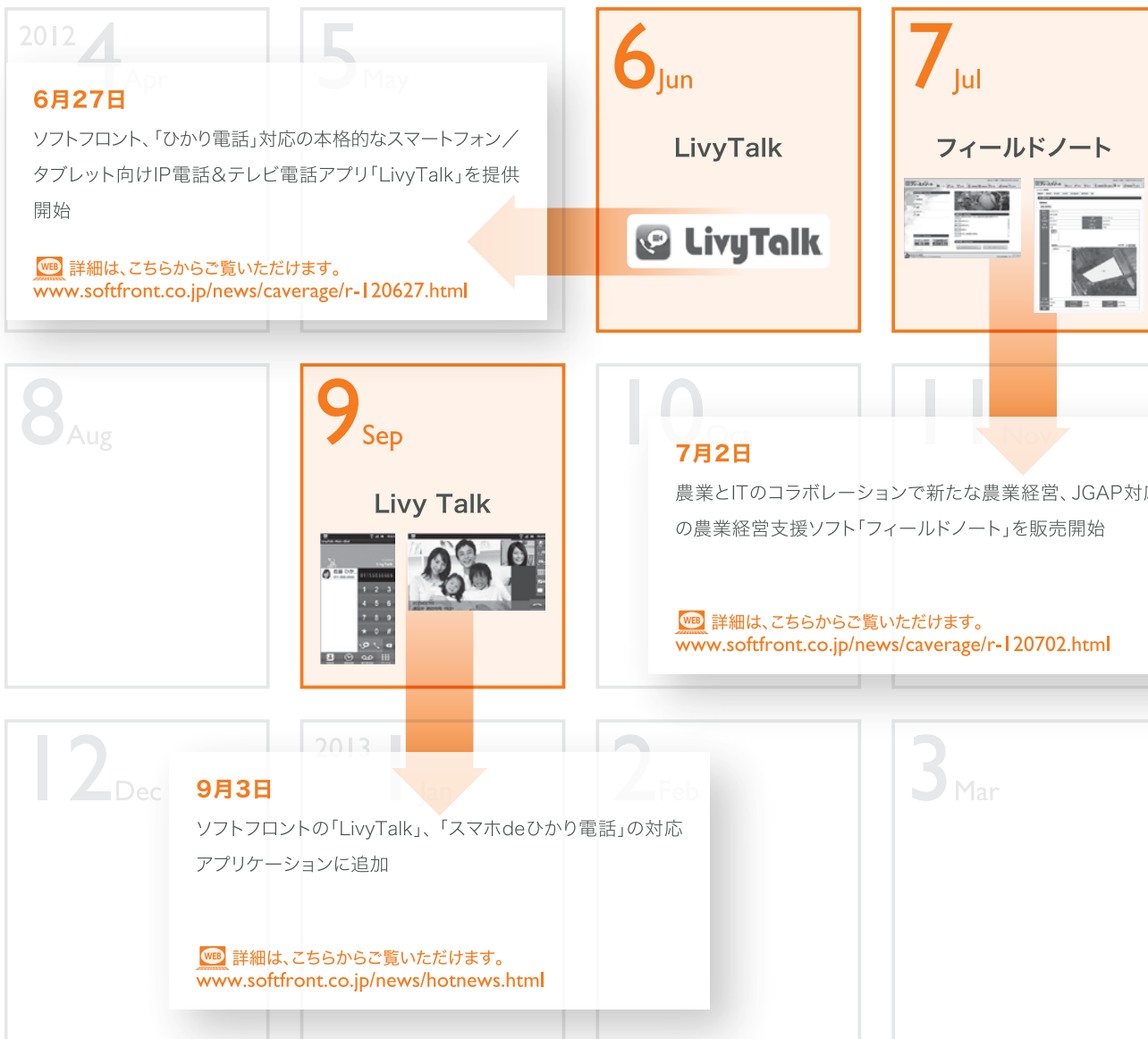
#### 内なる成長として、収益性と生産性の向上に向けて

研究開発エンジニアの人材プールとコスト力のある海外開発拠点により、収益性の向上と生産性の向上を実現いたします。

#### 2014年3月期の取り組み

開発リソースを集中した研究開発本部を設けプロジェクトと開発人員リソースの効率化を行うと共に、ベトナム子会社の開発力を活用し、収益性の向上と生産性の向上を実現いたします。

- リソースを集中することで、プロジェクト管理の徹底。開発リソースを集中し、効率よいプロジェクト管理を行います。
- 研究開発資産の管理とメンテナンス、新規開発実施。研究開発資産のより効率的な管理とメンテナンス、新規開発を行います。
- グローバル化によるコスト低減と開発力増強。グローバル体制で研究開発のコスト低減と開発力増強を行います。
- 人材育成と適切な配置による生産性向上。人材育成強化と適切な人材配置によって生産性向上を行います。



## FINANCIAL SECTION 1 | 財務諸表

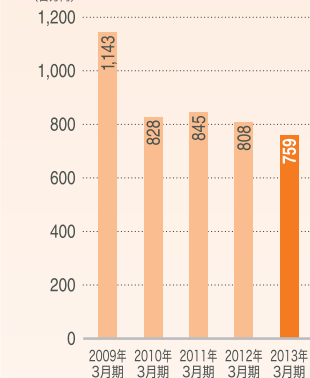
## ■ 貸借対照表

(単位:千円)

	第15期 2012年3月期	第16期 2013年3月期
<b>資産の部</b>		
I 流動資産	605,448	470,141
II 固定資産	202,688	289,815
有形固定資産	11,990	8,578
無形固定資産	138,915	204,961
投資その他の資産	51,782	76,275
<b>資産合計</b>	<b>808,136</b>	<b>759,957</b>
<b>負債の部</b>		
I 流動負債	62,725	125,141
<b>負債合計</b>	<b>62,725</b>	<b>125,141</b>
<b>純資産の部</b>		
I 株主資本	741,687	631,205
資本金	2,792,479	2,792,479
資本剰余金	2,574,639	2,574,639
利益剰余金	△4,625,431	△4,735,913
II 新株予約権	3,723	3,610
<b>純資産合計</b>	<b>745,411</b>	<b>634,815</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>808,136</b>	<b>759,957</b>

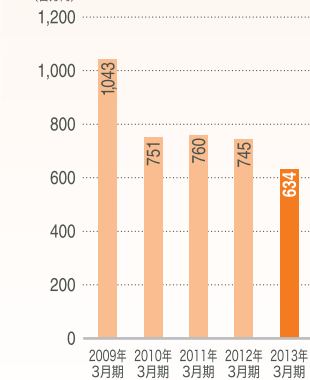
## ■ 総資産

(百万円)



## ■ 純資産

(百万円)



## FINANCIAL SECTION 2 | 財務諸表

### ■ 損益計算書

(単位:千円)

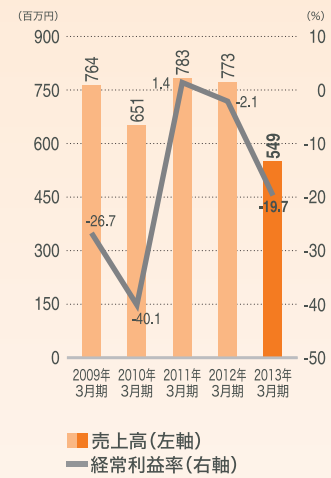
	第15期 2012年3月期	第16期 2013年3月期
<b>I 売上高</b>	<b>773,205</b>	<b>549,212</b>
売上原価	399,000	267,051
<b>II 売上総利益</b>	<b>374,205</b>	<b>282,160</b>
販売費及び一般管理費	387,787	389,953
<b>III 営業損益</b>	<b>△13,582</b>	<b>△107,793</b>
営業外収益	64	328
営業外費用	2,555	596
<b>IV 経常損益</b>	<b>△16,073</b>	<b>△108,062</b>
<b>V 税引前当期純損益</b>	<b>△16,073</b>	<b>△108,062</b>
法人税、住民税及び事業税	2,420	2,420
<b>VI 当期純損益</b>	<b>△18,493</b>	<b>△110,482</b>

### ■ キャッシュ・フロー計算書

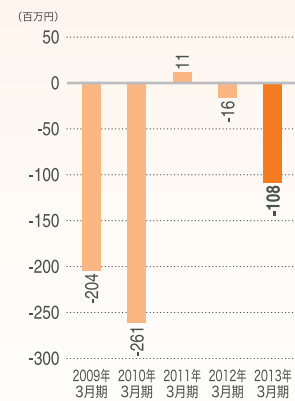
(単位:千円)

	第15期 2012年3月期	第16期 2013年3月期
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>128,542</b>	<b>11,746</b>
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△103,524</b>	<b>△167,972</b>
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,228</b>	<b>50,000</b>
<b>IV 現金及び現金同等物の増減額(△:減少)</b>	<b>26,246</b>	<b>△106,225</b>
<b>V 現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>293,789</b>	<b>320,036</b>
<b>VI 現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>320,036</b>	<b>213,810</b>

### ■ 売上高/経常利益率



### ■ 経常損益推移



## INFORMATION | インフォメーション

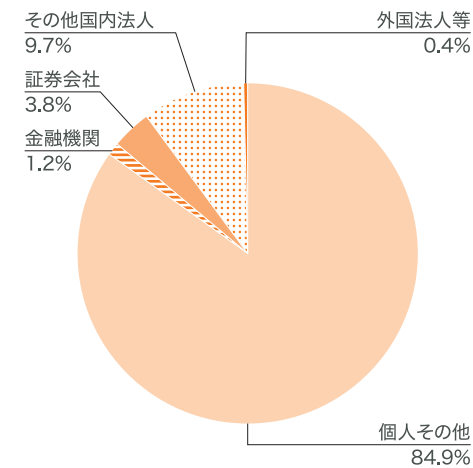
### ■ 株式の状況

発行可能株式総数	324,400株
発行済株式総数	92,002株
株主数	4,250名

### ■ 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
村田 利文	7,704	8.37
NTTインベストメント・パートナーズファンド投資事業組合	5,730	6.22
長屋 正宏	3,607	3.92
小川 武重	2,035	2.21
寶門 行雄	1,000	1.08
株式会社長屋商会	917	0.99
マネックス証券株式会社	882	0.95
大阪証券金融株式会社	865	0.94
株式会社SBI証券	767	0.83
渡辺 修一	708	0.76

### ■ 所有者別状況



### ■ 株価の推移

